

神学塾信徒セミナー

「日本聖公会の祈禱書改正について」

呉信愛教会 エリザベツ 澄田 淑子

6月25日(土) オンライン

開催により、広島復活教会で神学塾信徒セミナー「日本聖公会の祈禱書改正について」に出席させて頂きました。

祈禱書は教会で共同礼拝を献げるために用いる祈りの書であり、私たちの生涯に合わせて編集されていると学んだことがあります。振り返りますと、私の手元には1959年改正文語体の祈禱書があります。公会問答、聖洗式の項には至る所に線を引き、書き込んでいます。受洗前に司祭よりご指導を受けた証ですが、まだまだ祈りの足りない私です。毎主日持参するため相当傷んでいますが、私の最も大切な書籍の中の一冊

です。

今回のセミナーでは、林和広司祭から「祈禱書改正の変遷」、永野拓也司祭から「祈禱書改正委員会の活動内容」についてお話がありました。

そこで祈禱書は信仰と生活を共にする人が神に造られ生命を与えられた民として、キリストと共に旅路を歩む祈りの書であると言われたことに深い感銘を受けました。

この祈禱書は他の教派には

なく、聖公会独自のものです。内容については研究に研究を、検討に検討を重ね、一言一句無駄のない完全な祈禱書であるとお聞きしたこともありま

す。今回、どこをどの様に改正されるのでしょうか。長い伝統のある祈禱書ですが、伝統あるものは残しつつも、グローバル化、多様化してきている社会の変化に呼応するための改正であること。改正の準備作業はすでに8年位前から行われてきているようですが、まずは試用版作成に向けて進められているそうです。2024年以降出版作業に入

るとのこと、新しい祈禱書を手にする迄、元気で信仰生活を送りたいと思いました。

神戸教区の若い司祭方がこの様に難しい問題に取り組んでいらつしやる姿に励まされ、神戸教区の今後の発展を祈り、私たち信徒はこのご苦

勞に報いるよう益々信仰を深め、お支えしていかなくてはと思います。主に感謝!



10月23日 社会事業の日

すべての社会事業の働きのために祈り、信施を献げましょう。

《お詫びと訂正》

神のおとずれ8月号2面の第67(定期)総会報告(選挙結果)報告で間違いがありました。

常議員ではなく、常議員です。また、主教常議員の記載がありませんでした。

【首座主教・

常議員会選挙結果】

首座主教

主教 武藤 謙一

主教常議員

主教 武藤 謙一

主教 高地 敬

主教 笹森 田鶴

聖職常議員

司祭 大岡左代子

司祭 土井 宏純

司祭 上田亜樹子

信徒常議員

赤坂 有司(東北)

池住 圭(中部)

村井 恵子(横浜)

大変失礼いたしました。お詫びして訂正いたします。(広報部)